

東北大学大学院文学研究科・文学部の状況(3月29日(火)現在)

①建物【文教研究棟(F棟)、合同研究棟(G棟)、文・法学部校舎(H棟)】 の状況及び入退について

施設部による「応急危険度判定」により、「建築物の災害程度は小さいと考えられます。建築物は使用可能です。」との結果を受け、通常の入退としております。特に制限は設けておりません

②ライフラインの状況について

電気 復旧しております。使用可能です。

火災等を防止するため、全てのブレーカーを落としております。各室のコンセントを抜き、安全が確認された時点で、専攻分野単位でブレーカーを上げております。

水道 復旧しております。使用可能です。

ガス 復旧しておりません。使用できません。

文教研究棟(F棟)はガスヒートポンプのため暖房が使用できません。防寒対策をお願いいたします。

なお、屋上にあるガスヒートポンプの室外ユニットに大きな被害が認められました。業者による修理を行うよう進めております。ガス復旧後、すぐに暖房が使えるようになるか現在のところ不明です。

電話 復旧しております。使用可能です。

ネットワーク 復旧しております。使用可能です。

③各専攻分野の建物及び物品の被害状況の確認について

建物及び物品の被害状況の調査を引き続きおこなっております。メールで調査の依頼を行いますので、ご協力をお願いいたします。